

科目名	単位数	担当教員
カリキュラムデザイン特論 (R2 認定通信)	4 単位	仲 久徳
<p>テキスト *以下の2冊を用意してください。</p> <p>①ジョンソン, D.W. [ほか] (石田裕久 [ほか] 訳) 『【改訂新版】学習の輪—学び合いの協同教育入門—』二瓶社, 2010</p> <p>②木村優・岸野麻衣編 『授業研究—実践を変え、理論を革新する』新曜社, 2019</p>		
<p>科目の概要</p> <p>本科目では、新学習指導要領の主要な柱である「主体的・対話的で深い学び」及び「カリキュラム・マネジメント」に焦点を当て、主に以下の3点について学んでいきます。</p> <p>①学習指導要領改訂のもととなった中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日）の内容について復習する。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」に資する協同学習を実現するための基礎的事項を学習するとともに、協同学習をデザインする。</p> <p>③「カリキュラム・マネジメント」に資する授業研究の理論的事項や事例について学習するとともに、授業研究の方法を提案する。</p>		
<p>I 科目の目的・ねらい</p> <p>本科目の到達目標は以下の2点です。</p> <p>② 協同学習の基礎的事項を理解し、ある授業場面での協同学習をデザインできる。</p> <p>② 授業研究の理論的事項を理解し、実際に使える授業研究の方法を提案できる。</p>		
<p>II 授業計画と評価</p> <p>・授業計画</p> <p>第1回 本科目の内容・学び方について学ぶ</p> <p>第2回 カリキュラムに関する政策動向について復習する</p> <p>第3回 協同学習の基礎的事項を学ぶ① 協同学習の本質（テキスト①第1章）</p> <p>第4回 協同学習の基礎的事項を学ぶ② 協同の基本的構成要素（テキスト①第5章）</p> <p>第5回 協同学習の基礎的事項を学ぶ③ 協同的な技能の指導（テキスト①第6章）</p> <p>第6回 協同学習の基礎的事項を学ぶ④ 協同学習の評価（テキスト①第7章）</p> <p>第7回 協同学習をデザインする① 協同学習にふさわしい授業場面の選定</p> <p>第8回 協同学習をデザインする② 選定した授業場面での協同学習のデザイン</p> <p>第9回 授業研究の理論的事項を学ぶ① 授業研究とは何か？（テキスト②第1部）</p> <p>第10回 授業研究の理論的事項を学ぶ② 授業を見て記録する（テキスト②第2部）</p> <p>第11回 授業研究の理論的事項を学ぶ③ 授業研究会を組織する（テキスト②第3部）</p> <p>第12回 授業研究の事例を学ぶ 授業研究の実際（テキスト②第4部）</p> <p>第13回 授業研究の方法を提案する① 日常的に取り組める授業研究の提案</p> <p>第14回 授業研究の方法を提案する② 校内研究で取り組める授業研究の提案</p> <p>第15回 本科目のまとめ・学修の振り返りをする</p> <p>科目修得試験</p>		

・評価

レポート 50%、科目修得試験 50%の割合で行う。

Ⅲ 学修の流れ

1. 学習指導書に示す<テーマ①～⑦>に沿って、指定のテキスト等を読んだり、アイデアを練りながら学修を進める。
2. 「Ⅳレポート課題」の指示に従ってレポートを作成し、学生ポータルサイトより提出する。
3. 科目修得試験の申し込みをする。

レポート合格後、科目修得試験を受験する。

参考文献

・中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」平成 28 年 12 月 21 日

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf

・杉江修治『協同学習入門－基本の理解と 51 の工夫』ナカニシヤ出版, 2011

・秋田喜代美・藤江康彦編著『これからの質的研究法－15 の事例にみる学校教育実践研究』東京図書, 2019

・日本カリキュラム学会編『現代カリキュラム研究の動向と展望』教育出版, 2019

その他

理論に裏付けられた実践を目指して、本科目の学習に取り組まれることを期待しています。